

# 病院年報

第 52 号  
( 2022 )



川崎市立 井 田 病 院

## 基本理念

川崎市立井田病院は、自治体病院として、市民に信頼され、市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。

### ❖ 運営方針

1. 川崎市立井田病院は、公立病院として地域住民の医療の要望に応えます。
2. 地域の病院や診療所とのつながりを大切にします。
3. 生活習慣病を中心とする専門性の高い医療を行います。
4. 市内唯一の結核病床を有する病院としての充実した機能の整備に努めます。
5. 地域におけるがん診療連携拠点病院としての役割を果たします。
6. 緩和ケアと在宅療養支援を柱に、地域包括ケアシステムを進めます。
7. あらゆる災害に対応できる病院としての役割を果たします。
8. 急に具合が悪くなった方のために、救急医療の体制の強化に努めます。
9. 井田山の美しい自然環境を活かし、ボランティア活動を通じて、地域の医療と文化のより所となります。
10. 医療従事者のより良い研修の場となるように、職員各人が医療水準の向上に努めます。
11. 病院経営の健全化に努めます。

## ❖ 診療方針

1. 温かい心、やさしい手、確かな技術を提供します。
2. 患者さん中心のチーム医療をすすめます。

## ❖ 患者さんの権利と責任

川崎市立井田病院では、「市民から信頼され、安心してかかれる病院づくり」の理念のもとに、質の高い医療の提供とサービスの向上に努めています。

そこで、最善の医療を行うために、「患者さんの権利と責任」を明記し、その実現に向けて、皆さまとともに歩んで行きたいと思えます。

1. 患者さんは、川崎市立井田病院で公平かつ最良の医療を受ける権利があります。
2. 患者さんは、病院での診療結果、治療の方法、予想される危険性、医療費など診療内容について、十分な説明や診療情報の提供を受ける権利、すなわち知る権利があります。
3. 患者さんは、十分な説明を受けたうえで、ご自身の意思で治療法を選択してください。そのために、カルテを含む診療情報の開示やセカンド・オピニオン（別の医師または別の医療機関の意見）を求める権利があります。
4. 患者さんには、法により必要とされるものを除き、ご自身の情報を承諾なしに第三者に開示されない権利があります。
5. 医療は患者さんと医療提供者がお互いに信頼し合い、協力して行っていくものであり、患者さんに求められる次のような責任があります。
  - ア. ご自身の心身や生活の情報について、医療提供者に出来るだけ正確に知らせる責任があり、また、ご自身の病気や医療について十分に理解するように努力する責任があります。
  - イ. 他の患者さんが医療を受けるための妨げにならないよう、社会的なルールや病院内の規則に従い、病院職員の指示を守る義務があります。



「財団法人 日本医療機能評価機構」による認定



## 発行のことば

病院長 伊藤 大輔

2022年度も世界中を悲喜こもごもなニュースが駆け巡った1年でした。前々年に世界規模で感染拡大を見せた新型コロナウイルスは変異を繰り返し、8月には最大規模の波となり、感染者数累計は世界で6億人、日本で1800万人に達しました。未だに収束の兆しを見せませんが、重症化率・死亡率の低下を受けて、全例把握の見直し、水際対策の緩和を皮切りに新型コロナとの共存が図られるに至っています。国内では7月8日参議院選挙の直前、街頭演説中に安倍晋三元首相が狙撃され死亡するという衝撃のニュースが全世界を震撼させました。その後犯人の背景要因として統一教会問題が大きくクローズアップされ政治と宗教の癒着が問題化しました。海外では9月8日に英国からエリザベス女王の訃報が世界に配信され、英国の歴史における王室の役割に再度注目が集まりました。またウクライナを巡る戦火はウクライナ人と武力侵略を否定する国際社会の団結によりプーチンの野望を挫く展開となっていますが、戦争2年目に突入して、双方に多くの犠牲者を生み続ける膠着状態になりつつあります。かつて日露戦争で薄氷の勝利を収めた我が国にとっても他人事ではありません。ロシアを屈服させることは困難でも戦争継続を諦めさせることは可能です。国際社会の支持を集めたり、後方攪乱活動で革命勢力を支援するなど明治の日本人の生存をかけた構想力と命がけの努力は今日の我々も学ぶべきところがあります。

井田病院を振り返ります。2021年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対しては神奈川県モデルの重点医療機関として全力を挙げて対応を続け、その間小規模な院内クラスターは発生しましたが、感染管理室と感染症科を中心に全職員の協力を得て常に高い緊張感を維持しながら医療体制を保ち続けています。一方で重症化率の低下に伴い入院患者数が減少したことから、通常の医療機能の復活が急務とされ、前年12月から検討してきた結核病棟の再開を7月に果たすことができました。また外科系を中心に一時は緊急症例を除く待機的手術を制限する時期もありましたが、現在はほぼコロナ以前と同様の体制で診療できる状況に復活してまいりました。しかし、383床の病床に対して最大92床をコロナ対応に充てるという過酷な状況が一般診療に与えた影響は甚大でした。2022年度の医業収益は前年度比8%改善したとはいえ7年連続の増加で過去最高だった2019年度に比し-10%と低迷しております。現在、病床稼働の改善、収支の改善に向け職員一丸となって取り組んでおりますので皆様方のご支持ご支援を是非ともお願いいたします。

# 目 次

基本理念		4 地域別患者数	38
刊行のことば		5 時間外急患診療状況	39
		6 診療アウトカム	40
		7 特定健診・市がん検診等受診者数	41
<b>I 病院の概要</b>		<b>IV 各科（課）のあゆみ</b>	
1 施設の概要	1	1 診療科	
2 診療部門	1	(1) 内科	43
3 管理部門	2	(2) 呼吸器内科	46
4 病床数	2	(3) 循環器内科	46
5 病棟	2	(4) 血液疾患センター(血液内科)	47
6 病院の指定・認定	2	(5) 腫瘍内科	47
7 施設基準一覧	4	(6) 糖尿病内科	48
8 組織図	10	(7) 腎臓内科	49
9 建物配置図	11	(8) 脳神経内科	49
10 病棟等配置図	12	(9) 感染症内科	49
11 主要アクセス	13	(10) 消化器センター	
12 沿革	14	肝臓内科・消化器内科	50
13 三役人事の変遷	20	(11) 消化器センター	
14 職員定数及び現員数(2022年4月)	22	外科・消化器外科	52
15 主な委託業務	23	(12) ブレストセンター(乳腺外科)	53
16 主要医療機器・備品	24	(13) 呼吸器外科	56
		(14) 整形外科	56
<b>II 決算のあらまし</b>		(15) 脳神経外科	57
1 年度別収入収支状況	29	(16) 精神科	57
2 2022年度の決算	30	(17) リウマチ膠原病・痛風センター	57
(1) 病院運営に係る収入支出	30	(18) 皮膚科	58
(2) 建設改良に係る収入支出	30	(19) 泌尿器科・泌尿器内視鏡科	59
(3) 損益計算書	31	(20) 婦人科	60
3 財産状況明細	32	(21) 眼科	60
4 主な経営分析	34	(22) 耳鼻咽喉科	61
		(23) 麻酔科	62
<b>III 診療概要</b>		(24) 歯科口腔外科	62
1 科別患者状況		(25) 救急総合診療センター	63
(1) 外来	35	2 放射線診断科・放射線治療科	64
(2) 入院	35	3 検査科・病理診断科	72
2 病棟別稼働状況	36	4 リハビリテーションセンター	75
3 科別収入実績(2022年度)		5 内視鏡センター	77
(1) 医業収益	37		
(2) その他医業収益	37		

6	MEセンター	78
7	透析センター	79
8	集中治療室	79
9	手術部	79
	(1) ロボット手術センター	80
10	薬剤部	80
	(1) 調剤業務(内用・外用薬)	82
	(2) 注射剤調剤業務	83
	(3) 調剤業務	84
	(4) 薬剤管理指導業務	84
	(5) 無菌製剤処理業務	85
	(6) 持参薬鑑別 年度別総件数	86
	(7) 治験・臨床研究 審議案件	86
	(8) 2022年度 休日、夜間勤務状況	86
11	看護部	87
	(1) 人事・組織	87
	(2) 主な行事など	87
	(3) 看護部の現状	88
	師長会	90
	主任会	91
	副主任会	92
	教育委員会	92
	安全管理委員会	93
	感染管理委員会	94
	記録委員会	94
	働きやすい職場づくり委員会	95
	退院調整班	96
	がん看護緩和ケア班	96
	スペシャリスト班	96
	呼吸ケア班	97
12	食養科	97
13	教育指導部	101
14	地域医療部	103
15	医療安全管理室	107
16	感染対策室	108
17	医事課	109
18	在宅緩和ケアセンター	109
	(1) 緩和ケア病棟	112
	(2) 医療相談部門	112
	(3) 在宅ケア部門	113

(4) がん相談支援センター	115
----------------	-----

## V 業績目録

1	著書・論文・投稿	117
2	学会発表	119
3	講演・講師派遣	124

## VI 研修・実習

1	研修会	
	(1) 放射線診断科	131
	(2) 検査科	136
	(3) 薬剤部	138
	(4) 看護部	142
	(5) 食養科	143
	(6) リハビリテーションセンター	146
	(7) 地域医療部・ 在宅緩和ケアセンター	147
2	実習指導	148
	(1) 食養科	148
	(2) 薬剤部	148
	(3) 看護部	148

## VII 委員会

委員会一覧	151	
1	医療安全管理委員会	153
2	医療安全部会	153
3	院内感染対策委員会	153
4	感染部会	153
5	輸血療法委員会	154
6	放射線安全委員会	155
7	医療ガス安全管理委員会	155
8	衛生委員会	156
9	働き方改革推進委員会	157
10	薬事委員会	158
11	医療機器管理委員会	158
12	透析機器安全管理委員会	159
13	医療放射線管理委員会	159
14	医療事故防止対策委員会	159
15	治験・臨床研究倫理審査委員会	159
16	倫理委員会	160

17 保険委員会	160	2 単行書受入	185
18 DPC委員会	160	3 EBMツール	185
19 診療情報管理委員会	160	4 文献検索ツール	185
20 診療録管理委員会	161	5 電子書籍ツール	185
21 救急医療運営委員会	161	6 現行受入雑誌(洋雑誌)	185
22 当直検討部会	162	7 現行受入雑誌(和雑誌)	185
23 災害時医療等委員会	162		
24 地域連携委員会	162		
25 地域がん診療連携拠点病院 推進委員会	164		
26 キャンサーボード	165		
27 化学療法管理委員会	166		
28 クリニカルパス委員会	166		
29 褥瘡対策委員会	167		
30 NST(栄養サポートチーム) 運営委員会	167		
31 嚥下・口腔サポートチーム部会	168		
32 給食委員会	168		
33 職員研修委員会	168		
34 研修管理委員会	168		
35 看護師特定行為研修部会	169		
36 図書委員会	169		
37 機種・診療材料選定委員会	169		
38 市民交流・サービス向上委員会	170		
39 ホームページ・広報委員会	172		
40 臨床検査管理委員会	172		
41 外来診療委員会	173		
42 手術部委員会	173		
43 HCU委員会	173		
44 院内がん登録運用委員会	173		
45 地域包括ケア病棟運営委員会	174		
46 緩和ケア委員会	176		
47 がんサポート・緩和ケア部会	182		
48 病床管理運営委員会	183		
49 ハラスメント防止対策委員会	183		
50 糖尿病サポートチーム運営委員会	183		
51 認知症ケア運営委員会	184		

## VIII 取得図書

1 利用統計	185
--------	-----



# I 病院の概要

(2022年4月1日現在)



## 1 施設の概要

所 在 〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田2丁目27番1号

電 話 044(766)2188 (代表)

F A X 044(788)0231

敷地面積 36,702.037 m<sup>2</sup>

建築面積 10,745.37 m<sup>2</sup> (うち、別館 1,473.090 m<sup>2</sup>

保育所 335.37 m<sup>2</sup> 倉庫 84.18 m<sup>2</sup>

立体駐車場 2,185.66 m<sup>2</sup> )

延床面積 39,480.45 m<sup>2</sup> (うち、別館 3,283.380 m<sup>2</sup>

保育所 308.15 m<sup>2</sup> 倉庫 168.36 m<sup>2</sup>

立体駐車場 2,932.97 m<sup>2</sup> )

## 2 診療部門

診療科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経内科、感染症内科、人工透析内科、肝臓内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科

専門外来

### 【内科】

消化器、リウマチ、脳神経、腎臓、腎機能改善（～2022年7月まで）、CKD（2022年8月～）、呼吸器、禁煙、在宅酸素、循環器（心臓）、ペースメーカー、不整脈、睡眠時無呼吸症候群、感染症、渡航前予防相談、糖尿病、内分泌、血液、腫瘍

### 【外科】

大腸ポリープ、ストーマ、胆石、血管、心臓血管

### 【整形外科】

装具、脊椎、足の外科

### 【婦人科】

家族性腫瘍相談、婦人科内視鏡、女性健康

### 【泌尿器科】

尿失禁、膀胱鏡・ESWL(体外衝撃波結石破砕)

### 【歯科口腔外科】

顎関節・口腔顔面痛

### 【耳鼻咽喉科】

難聴、喉頭、補聴器

その他

検査科、MEセンター、薬剤部、食養科、看護部、集中治療室(HCU)、手術部、内視鏡センター、化学療法センター、リウマチ膠原病・痛風センター、教育指導部、地域医療部、臨床研究支援室、健康管理室、リハビリテーションセンター、救急センター、感染対策室、医療安全管理室

### 3 管理部門

事務局（庶務課・医事課）

### 4 病床数

383 床（一般病床 343 床、結核病床 40 床）

### 5 病棟

本館 一般病床及び結核病床

緩和ケア病棟 一般病床

### 6 病院の指定・認定

#### （1）法令等による指定

保険医療機関

労災保険指定医療機関

指定自立支援医療機関（更生医療）

指定自立支援医療機関（精神通院医療）

身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関

精神保健指定医の配置されている医療機関

生活保護法指定医療機関

結核指定医療機関

被爆者一般疾病指定医療機関

被爆者認定疾病指定医療機関

感染症指定医療機関

公害医療機関

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

エイズ治療拠点病院

難病指定医療機関

DPC対象病院

指定小児慢性特定疾病医療機関

神奈川県災害協力病院（～2022年6月30日）

神奈川県災害拠点病院（2022年7月1日～）

神奈川DMAT-L指定病院

神奈川DMAT指定病院（2022年7月1日～）

神奈川県がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

在宅療養後方支援病院

## （2）学会による認定

日本内科学会日本専門医機構 内科専門研修プログラム基幹施設

日本整形外科学会専門医研修施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本呼吸器学会認定施設

日本リウマチ学会教育施設

日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本消化器内視鏡学会指導施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本腎臓学会研修施設

日本麻酔科学会麻酔科認定病院

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本透析医学会専門医制度認定施設

日本高血圧学会専門医認定施設

日本緩和医療学会認定研修施設

日本感染症学会研修施設

日本消化器病学会認定施設

日本大腸肛門病学会認定施設

日本臨床細胞学会施設認定

日本臨床細胞学会教育研修施設

日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設

日本病理学会研修認定施設

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

日本口腔顔面痛学会研修施設

日本顎関節学会顎関節症専門医関連研修施設

日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（咽喉系）

日本口腔外科学会認定准研修施設

日本リハビリテーション医学会研修施設

日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設

日本脈管学会認定研修関連施設

日本乳癌学会認定施設

日本医学放射学会画像診断管理認証施設「MRI安全管理に関する事項」

## 7 施設基準一覧

### 施設基準一覧（基本）

（令和5年3月31日 現在）

	届出項目	受理番号	算定開始年月日
1	地域歯科診療支援病院歯科初診料	（病初診）第65号	平成30年10月1日
2	歯科外来診療環境体制加算2	（外来環2）第431号	平成30年10月1日
3	一般病棟入院基本料（急性期一般1）	（一般入院）第1491号	令和4年10月1日
4	結核病棟入院基本料（10対1）	（結核入院）第1089号	令和4年8月1日
5	救急医療管理加算	（救急医療）第143号	令和2年4月1日
6	診療録管理体制加算2	（診療録2）第94号	平成16年5月1日
7	医師事務作業補助体制加算1	（事補1）第95号	令和2年7月1日
8	急性期看護補助体制加算25対1（看護補助5割以上） 看護補助体制充実加算	（急性看護）第74号	令和4年10月1日
9	看護職員夜間配置加算（12対1）配置加算2	（看夜配）第115号	令和元年12月1日
10	療養環境加算	（療）第5号	平成28年9月1日
11	重症者等療養環境特別加算	（重）第116号	平成28年9月1日
12	緩和ケア診療加算	（緩診）第16号	平成23年2月1日
13	栄養サポートチーム加算	（栄養チ）第33号	平成23年3月1日
14	医療安全対策加算1 医療安全対策地域連携加算1	（医療安全1）第78号	令和元年9月1日
15	感染対策向上加算1 指導強化加算	（感染対策1）第19号	令和4年5月1日
16	患者サポート体制充実加算	（患サポ）第254号	令和4年1月1日
17	重症患者初期支援充実加算	（重症初期）第15号	令和4年4月1日
18	呼吸ケアチーム加算	（呼吸チ）第49号	令和3年8月1日
19	後発医薬品使用体制加算2	（後発使2）第116号	令和4年4月1日
20	データ提出加算	（データ提）第24号	平成24年10月1日
21	入退院支援加算1 入院時支援加算 総合機能評価加算	（入退支）第110号	令和4年10月1日

22	認知症ケア加算 1	(認ケア) 第 191 号	平成 30 年 12 月 1 日
23	せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア) 第 83 号	令和 2 年 4 月 1 日
24	地域医療体制確保加算	(地医確保) 第 40 号	令和 4 年 10 月 1 日
25	ハイケアユニット入院医療管理料 1	(ハイケア 1) 第 29 号	平成 28 年 8 月 1 日
26	地域包括ケア病棟入院料 2 看護職員配置加算 看護職員夜間配置加算	(地包ケア 2) 第 65 号	令和 4 年 10 月 1 日
27	緩和ケア病棟入院料 1	(緩 1) 第 11 号	令和 2 年 4 月 1 日
28	看護職員処遇改善評価料 67	(看処遇 67) 第 4 号	令和 4 年 10 月 1 日

### 施設基準一覧 (特掲・その他)

(令和 5 年 3 月 31 日 現在)

	届出項目	受理番号	算定開始年月日
1	糖尿病合併症管理料	(糖管) 第 54 号	平成 20 年 4 月 1 日
2	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第 54 号	平成 22 年 4 月 1 日
3	がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第 17 号	令和 4 年 10 月 1 日
4	がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第 9 号	平成 26 年 4 月 1 日
5	外来緩和ケア管理料	(外緩) 第 3 号	平成 24 年 4 月 1 日
6	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第 95 号	平成 30 年 11 月 1 日
7	婦人科特定疾患治療管理料	(婦特管) 第 175 号	令和 2 年 8 月 1 日
8	腎代替療法指導管理料	(腎代替管) 第 15 号	令和 2 年 4 月 1 日
9	一般不妊治療管理料	(一妊管) 第 106 号	令和 4 年 10 月 1 日
10	二次性骨折予防継続管理料 1	(二骨管 1) 第 43 号	令和 4 年 4 月 1 日
11	二次性骨折予防継続管理料 2	(二骨管 2) 第 31 号	令和 4 年 4 月 1 日
12	二次性骨折予防継続管理料 3	(二骨管 3) 第 92 号	令和 4 年 4 月 1 日
13	下肢創傷処置管理料	(下創管) 第 48 号	令和 4 年 9 月 1 日
14	外来放射線照射診療料	(放射診) 第 34 号	平成 28 年 4 月 1 日
15	外来腫瘍化学療法診療料 1	(外化診 1) 第 44 号	令和 4 年 4 月 1 日
16	連携充実加算	(外化連) 第 89 号	令和 4 年 4 月 1 日
17	ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第 512 号	平成 29 年 7 月 1 日
18	がん治療連携計画策定料	(がん計) 第 7 号	平成 22 年 7 月 1 日
19	肝炎インターフェロン治療計画料	(肝炎) 第 50 号	平成 22 年 4 月 1 日
20	薬剤管理指導料	(薬) 第 165 号	平成 22 年 4 月 1 日
21	医療機器安全管理料 1	(機安 1) 第 96 号	平成 20 年 4 月 1 日
22	医療機器安全管理料 2	(機安 2) 第 56 号	令和 2 年 4 月 1 日
23	医療機器安全管理料 (歯科)	(機安歯) 第 20 号	令和 2 年 4 月 1 日
24	歯科治療時医療管理料	(医管) 第 1568 号	平成 24 年 7 月 1 日

25	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看) 第5号	平成30年12月1日
26	在宅療養後方支援病院	(在後病) 第24号	令和元年8月1日
27	在宅患者訪問褥瘡管理指導料	(在訪褥) 第17号	令和3年3月1日
28	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	(持血測1) 第47号	平成29年7月1日
29	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	(持血測2) 第14号	令和2年4月1日
30	B R C A 1 / 2 遺伝子検査	(B R C A) 第48号	令和2年7月1日
31	H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	(H P V) 第146号	平成26年4月1日
32	検体検査管理加算(I)	(検I) 第123号	平成13年1月1日
33	検体検査管理加算(II)	(検II) 第170号	令和元年10月1日
34	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行) 第93号	平成29年10月1日
35	精密触覚機能検査	(精密触覚) 第2号	平成30年4月1日
36	画像診断管理加算1	(画1) 第111号	平成26年4月1日
37	画像診断管理加算2	(画2) 第135号	平成29年10月1日
38	C T 撮影及びM R I 撮影	(C・M) 第523号	平成29年10月1日
39	冠動脈C T 撮影加算	(冠動C) 第92号	平成29年10月1日
40	乳房M R I 撮影加算	(乳房M) 第40号	令和4年2月1日
41	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方) 第31号	平成22年4月1日
42	外来化学療法加算1	(外化1) 第79号	平成27年2月1日
43	無菌製剤処理料	(菌) 第72号	平成20年4月1日
44	脳血管疾患等リハビリテーション料(II)	(脳II) 第221号	平成24年10月1日
45	運動器リハビリテーション料(I)	(運I) 第92号	平成24年10月1日
46	呼吸器リハビリテーション料(I)	(呼I) 第172号	平成24年10月1日
47	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	(摂嚥回2) 第2号	令和4年4月1日
48	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第84号	平成29年4月1日
49	歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第132号	平成26年4月1日
50	エタノールの局所注入(甲状腺)	(エタ甲) 第61号	平成22年4月1日
51	エタノールの局所注入(副甲状腺)	(エタ副甲) 第28号	平成22年4月1日
52	人工腎臓	(人工腎臓) 第192号	平成30年4月1日
53	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第25号	令和2年4月1日
54	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第124号	平成24年10月1日
55	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第52号	平成28年4月1日

56	手術用顕微鏡加算	(手顕微加) 第 85 号	平成 28 年 4 月 1 日
57	口腔粘膜処置	(口腔粘膜) 第 484 号	平成 30 年 7 月 1 日
58	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	(歯CAD) 第 127735号	令和 2 年 4 月 1 日
59	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	(組再乳) 第 44 号	令和 2 年 11 月 1 日
60	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	(緊整固) 第 14 号	令和 4 年 6 月 1 日
61	羊膜移植術	(羊膜移) 第 9 号	令和 4 年 10 月 1 日
62	顎関節人工関節全置換術(歯科)	(歯顎人工) 第 1 号	令和 2 年 4 月 1 日
63	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検(併用)	(乳セ 1) 第 46 号	平成 22 年 8 月 1 日
64	乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検(単独)	(乳セ 2) 第 46 号	平成 22 年 8 月 1 日
65	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	(乳腫) 第 12 号	平成 28 年 4 月 1 日
66	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	(ゲル乳再) 第 46 号	令和 2 年 11 月 1 日
67	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ) 第 77 号	平成 10 年 4 月 1 日
68	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	(大) 第 70 号	平成 13 年 12 月 1 日
69	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	(腹腓切) 第 52 号	令和 4 年 4 月 1 日
70	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸) 第 62 号	平成 27 年 7 月 1 日
71	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	(腎) 第 16 号	平成 3 年 6 月 1 日
72	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	(膀胱ハ間) 第 31 号	平成 29 年 11 月 1 日
73	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹膀胱悪支) 第 13 号	令和 3 年 12 月 1 日
74	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	(腹前支器) 第 16 号	平成 28 年 8 月 1 日
75	腹腔鏡下仙骨脛固定術	(腹仙骨固) 第 25 号	令和 4 年 10 月 1 日
76	腹腔鏡下仙骨脛固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹仙骨固支) 第 10 号	令和 4 年 10 月 1 日
77	医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	(胃瘻造) 第 150 号	平成 27 年 6 月 1 日
78	輸血管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ) 第 85 号	平成 24 年 4 月 1 日
79	輸血適正使用加算	(輸適) 第 86 号	平成 25 年 2 月 1 日
80	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前) 第 14 号	平成 24 年 4 月 1 日
81	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第 80 号	平成 27 年 4 月 1 日

82	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	(人工歯根) 第 25 号	令和 2 年 4 月 1 日
83	歯根端切除手術の注 3	(根切頭微) 第 65 号	平成 28 年 4 月 1 日
84	レーザー機器加算	(手光機) 第 477 号	平成 30 年 7 月 1 日
85	麻酔管理料 (I)	(麻管 I) 第 64 号	平成 8 年 12 月 1 日
86	放射線治療専任加算	(放専) 第 67 号	令和 2 年 4 月 1 日
87	外来放射線治療加算	(外放) 第 56 号	令和 2 年 4 月 1 日
88	高エネルギー放射線治療	(高放) 第 111 号	平成 18 年 4 月 1 日
89	1 回線量増加加算	(増線) 第 35 号	令和 2 年 4 月 1 日
90	画像誘導放射線治療 (IGRT)	(画誘) 第 45 号	令和 3 年 11 月 1 日
91	体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策) 第 38 号	令和 3 年 11 月 1 日
92	定位放射線治療	(直放) 第 50 号	令和 3 年 11 月 1 日
93	定位放射線治療呼吸性移動対策加算	(定対策) 第 36 号	令和 3 年 11 月 1 日
94	病理診断管理加算 2	(病理診 2) 第 37 号	平成 30 年 8 月 1 日
95	悪性腫瘍病理組織標本加算	(悪病組) 第 29 号	平成 30 年 4 月 1 日
96	クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管) 第 5581 号	平成 19 年 4 月 1 日
97	入院時食事療養 (I)	(食) 第 58 号	昭和 33 年 10 月 1 日
98	酸素の購入価格の届出	(酸単) 第 50329 号	令和 4 年 4 月 1 日

**医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6 (歯科点数表第 2 章第 9 部手術の通則 4 を含む) に掲げる手術および経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術の症例数**

当院では次の通り手術症例数があります。(期間：令和 4 年 1 月～令和 4 年 1 2 月)

**区分 1 に分類される手術**

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0 件
イ	黄斑下手術等	0 件
ウ	鼓室形成手術等	1 件
エ	肺悪性腫瘍手術等	0 件
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0 件

**区分 2 に分類される手術**

ア	靭帯断裂形成手術等	5 件
イ	水頭症手術等	0 件
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0 件
エ	尿道形成手術等	0 件
オ	角膜移植術	0 件

カ	肝切除術等	12 件
キ	子宮付属器悪性腫瘍手術等	0 件

### 区分3に分類される手術

ア	上顎骨形成術等	0 件
イ	上顎骨形悪性腫瘍手術等	5 件
ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0 件
エ	母指化手術等	0 件
オ	内反足手術等	0 件
カ	食道切除再建術等	1 件
キ	同種死体腎移植術等	0 件

### 区分4に分類される手術 185 件

#### その他の区分に分類される手術

ア	人工関節置換術	22 件
イ	乳児外科施設基準対象手術	0 件
ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	34 件
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)及び体外循環を要する手術	0 件
オ	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	22 件

#### 経皮的冠動脈形成術

1	急性心筋梗塞に対するもの	0 件
2	不安定狭心症に対するもの	0 件
3	その他のもの	3 件

#### 経皮的冠動脈ステント留置術

1	急性心筋梗塞に対するもの	0 件
2	不安定狭心症に対するもの	0 件
3	その他のもの	19 件